

開催日	7月12日(火)	会場	大楽毛小学校 体育館	
時間	18:00~19:10	参加人数	30名	
計画位置付け	令和8年度 義務教育学校(大楽毛中学校・大楽毛小学校)			
質問	<p>Q1-1 検討委員会のメンバーには、学校、地域の関係者は入っているのか。</p> <p>7月は学校の繁忙期で先生方は忙しく、地域懇談会への参加は難しい。この日程で行うこととなった経緯を聞きたい。</p> <p>学校が減ると教職員、市職員も減ると思うが、想定される職員の減少数を聞きたい。義務教育学校のメリットの説明はあったが、デメリットも合わせて説明してもらえると検討ができると思う。ある程度の集団により切磋琢磨することの必要性は理解できるが、そもそも1校12~18学級という学級規模が現状と合っていない。この統合を繰り返していくともっと学校数が減る。35人ではなく、20人位が目届く範囲。</p> <p>一定の集団が形成できるのであれば、歩いて行ける場所に学校はあるべき。</p> <p>学校は、学校開放や避難所等としても使われており、学校が無くなればそうした社会的な環境が失われるのではないか。学校に勤務する教職員が消費を支えている側面もあるが、この部分が失われるのではないか。</p>			

回答	<p>A1-1 検討委員会のメンバーは14名で、学識経験者として大学の教員、小中学校校長会・小中学校教頭会、幼稚園連合会、高等学校校長会、地域代表として連合町内会、保護者代表として市PTA連合会、その他公募の委員3名から構成されている。</p> <p>この時期に懇談会を実施したのは、6月にたたき台を作成し、6月定例市議会にて報告をした後、出来るだけ早く地域の皆さんに内容を説明するために、この時期に行った。</p> <p>教員数については、学級数で配置数が決まるため、義務教育学校になった場合は、小学校の配置基準と中学校の配置基準により配置された教職員が合計されることになるため減ることはない。義務教育学校になった場合は、校長先生の1名分が一般教員として配置できるため、授業を持つことが可能となる。</p> <p>市教委として、12～18学級という学級規模を作ろうとは思っていない。大楽毛小・大楽毛中の義務教育学校を設置しても、1学年1学級は変わらないため、学年の人数が増えるわけではないが、学校全体として児童生徒数が増えるため、行事等学校施設の跡利用については全く決まっていない状況であるが、避難施設は何処かに設ける必要がある。また、学校開放については、使用実態等を考慮し、どういう使用が可能か今後協議していく。</p> <p>教員が減ると消費も失われるという観点は、今回の学校のあり方とは全く違う話になってしまう。ここでは教育課題がメインである。また大楽毛においては現在もスクールバスを運行している状況で、必要などころにはバス通学の対応を検討していく。</p> <p>義務教育学校のデメリットについては、小学校6年生のリーダーシップの醸成が課題と言われているが、先進事例によるとそれぞれの学年区分でリーダー性を持たせるなどの工夫を行い、デメリットの解消を行っている。実際に阿寒湖義務教育学校では、それぞれのステージの最上級生としてのリーダーシップを持たせる工夫を行っている。</p>
----	--

質問	<p>Q2 市内の学校と阿寒湖義務教育学校では規模が違う。規模に近いのは近隣では庶路だ と思うが、そこでのメリット・デメリットは検討したのか。義務教育学校に変わる ことによるギャップの方が、中1ギャップよりも大きいのではないか。</p> <p>体育館がひとつだと休み時間中の利用調整はどのように行うのか。また、小学生と 中学生では、例えばバスケットだとコートもゴールも大きさや高さが違うというこ とがあるが、そうした違いにどのように対応するのか。</p> <p>複式学級の指導経験があるが、少人数の方が自分で考えるようになり、学力が伸び る。少人数の方が自分達で勉強するようになる。</p> <p>大楽毛小の場合、半分位は少人数教室で小さいため、改修が必要。</p>
回答	<p>A2 管内の義務教育学校には視察に行き、色々情報を頂いている。また、阿寒湖義務教 育学校を開校する前には、本州の義務教育学校も3校視察に行った方から情報を頂 いている。デメリットよりもメリットの方が大きいとの情報を頂き、阿寒湖義務教 育学校の参考にしている状況である。</p> <p>体育館の利用については、ゾーニングを行ったりという工夫により、使用は可能で ある。またバスケットゴールは、小中学校それぞれの基準に合わせて整備すること となる。</p> <p>複式の方が学力が伸びるわけではない。複式が良いという話にはならないと考 える。子ども達が自ら学ぶ勉強方法も行っている。</p> <p>教室が足りないのではないかという点については、今後開校の3年前には運営につ いての協議を開始するが、その時点で教室が足りない状況であれば、増築・改修も 検討することになる。</p>
質問	<p>Q3-1 説明を聞いていて、どうしてもこの計画を進めていかなければならないという認識 には至らなかった。もう少し、みんなが納得できるように考えてほしい。現在、大 楽毛小体育館を学校開放で利用しており、一部は大楽毛中も利用させてもらって いるが、それが使えなくなるのではないかと危惧する。</p> <p>現在、大楽毛小の屋上を避難場所として活用するという話になっていると思うが、 その話はどうなるのか。</p>
回答	<p>A3-1 学校開放の利用については、今後の検討すべき項目として考えている。建物を除却 ということにはならないと考えているため、現在の利用の実態を把握し、継続利用 のお声があることをとどめて置きたい。</p> <p>防災については、避難場所の設置は必要であり、学校のあり方を検討する際には庁 内の関係部署とも話し合いを始めている。近い時点で結論を出していきたい。</p>
要望	<p>Q3-2 大楽毛では、防災備蓄品は大楽毛小に集中している。地域としては、分散備蓄を要 望しているが、今後の検討においては、そうしたことも含めて検討してほしい。</p>
回答	<p>A3-2 次回以降の検討の中で、議論にあげていく。</p>

質問	<p>Q4 義務教育学校になった場合、休み時間中の体育館の利用調整はどのように考えているのか。理科室や図書室等、小中学校でそれぞれ備品も蔵書も内容が違うと思うが、義務教育学校では、どのように対応していくのか。</p> <p>小中学校では1コマの授業時間も違う。また、校舎の使い方等、義務教育学校になると色々とわからないことがある。</p> <p>義務教育学校の場合、教職員は減らないとのことだったが、鳥取小と新陽小の統合においては確実に減ると思う。その点をどのように考えているのか。</p>
回答	<p>A4 理科室などの実験台などの高さは小学校と中学校では高さが違ってくる。施設の改修工事は出てくるので、その中でそうした備品については先生方と打ち合わせをしながら必要なものを入れていくことになる。</p> <p>休み時間等の体育館の利用については、ゾーンの分けなども必要な場合があると思う。しかし同じ校舎を使うことによる異年齢交流が増えることで、中学生は下級生に対する思いやりの心の醸成や、下級生にとっては上級生への憧れの気持ち、理想の先輩像を身近に感じることが出来る。</p> <p>授業時間については、小学校45分、中学校50分と違いがあるが、先進事例では上手く調整が取れていることから、参考にしながら組んでいくことになると思う。</p> <p>確かに小学校同士の統合を行うと、2校それぞれを足した教職員数にはならないので減ることになる。子ども達の教育をどうしたらよいか、という視点で考えているため、結果として教員が減る場合があるが、現状の課題を解決するのが大事だと考えている。</p>
質問	<p>Q5 今回説明のあった内容に関して、検討委員会の議論では全員一致だったのか。反対意見があったのであれば、その内容も示してもらえるとスムーズな議論になるのではないかと。学識経験者は義務教育学校に対してどのような見解なのか。</p>
回答	<p>A5 検討委員会内では、多数決を取ったわけではないが、反対のご意見は無かった。小中連携・小中一貫教育を進め、施設一体型の義務教育学校を設置するという方針に賛成であった。デメリットを工夫しながら得られるメリットの方が大きいという話になった。</p>
質問	<p>Q1-2 一般の保護者には、今回の内容は理解できないのでは。そういう意味でも検討委員会における反対意見を示すことは重要だと思う。</p>
回答	<p>A1-2 検討委員会では、大きな方針については反対は無かった。</p>
質問	<p>Q6 小学校と中学校でそれぞれ修学旅行などあると思うが、義務教育学校ではそうした行事はどうなるのか。</p> <p>義務教育学校では、養護教員の配置は1人なのか。校区が広がると児童館はどのような配置になるのか。今後、こういった説明の場は予定しているのか。</p>
回答	<p>A6 学校の行事は義務教育学校になっても変わらない。</p> <p>放課後児童クラブについては、重要なポイントであると認識しており、市の担当課とは協議を進めており、今後計画になった段階ではお示しできるようにしたい。</p> <p>義務教育学校は、小学校と中学校それぞれの配置基準により教員数が決定される。養護教諭については、小学校、中学校それぞれに配置となるため、2名体制となる。阿寒湖義務教育学校も2名の養護教員が配置されている。</p> <p>今後、10月に教育懇談会として地域に伺い、ご意見を聞く機会を設ける予定である。</p>